

2014年度

## 第36回

# 北信越学生アーチェリー対抗戦

大会期日 平成26年4月12日(土)、平成26年4月13日(日)  
場所 石川県金沢市 湖南運動公園  
主催 北信越学生アーチェリー連盟  
主管 北信越学生アーチェリー連盟  
後援 石川県アーチェリー協会

## 委員長挨拶

北信越学生アーチェリー連盟  
委員長 永田 咲

雪も次第に溶け、暖かい春の陽気が感じられる季節となりました。併せて新入生を迎える季節でもあります。みなさんの努力により、北信越学生アーチェリー連盟もより活性化できればよいと思っています。一人でも多くの部員が増えることを切に願います。

さて、新年を迎えて初の大会となりましたが、今大会は6月に静岡県で行われる王座決定戦と5月末に鹿児島県で行われる西日本大会の予選を兼ねています。上位大会への出場権を掴み取れるよう、選手の皆様には日頃の練習成果を十分に発揮して頂きたいと思います。また、今年度より公式団体戦においてセットポイント制が導入されます。大会2日目では団体戦のセットポイント制でのデモ試合を予定しております。

今大会がアウトドアの今年度初の大会になる選手が多いかと思えます。冬の期間に鍛えた力を十分に出し切り、素晴らしい成績を修められることを願っております。

最後になりましたが、今大会の運営にご尽力賜りました関係者各位に厚く御礼申し上げ大会挨拶とさせていただきます。

## 大会役員

大会会長	山本 善政
大会委員長	永田 咲
大会副委員長	杉浦 帆高
大会総務	玉木 芳英美
大会運営	北信越学生アーチェリー連盟

## 競技委員

競技委員長	森清 友亮
審判長	山崎 雅晃
記録委員長	向出 俊央
審判員	北信越学生アーチェリー連盟
時計、記録係	北信越学生アーチェリー連盟

## 表彰

団体戦	男子	1位～3位
	女子	1位

※優勝校に盾の授与

個人	男子	1位～6位
	女子	1位～3位

※1位～3位に盾の授与

## 日程

4月12日(土)

12:00	受付、弓具検査、開会式
13:30～16:30	試射、競技(男女70mW)
	※競技終了後にエール交換

13日(日)

9:00～12:20	競技(男女団体戦、3位決定戦)
12:20～13:00	昼食
13:00～	決勝戦
16:00～	閉会式

※競技進行状況により時間の変更があります。あらかじめご了承ください。

## 開会式・閉会式次第

### 開会式

1. 開会宣言
2. 委員長挨拶
3. 競技委員長挨拶
4. 競技説明
5. 選手宣誓

### 閉会式

1. 成績発表
2. 表彰
3. 大会講評
4. 閉会宣言
5. 諸連絡

## 競技方法

### 第36回北信越学生アーチェリー対抗戦の競技方法

#### <試射>

- ・行射は70mの射距離で、制限時間4分間の2立ちの繰り返しとする。

#### <予選ラウンド>

##### 【行射について】

- ・行射は男女共に70mの距離を72射し、1エンド4分6射で行う。
- ・行射は信号機とデジタル時計で管理し、30秒前には黄信号を表示する。
- ・ABC行射・矢取り、DEF行射・矢取り、の繰り返しとする。
- ・弓具破損および予期せぬ医学的問題が発生した場合は、審判員にアピールすることによって修理または交換、回復に必要な時間が最大15分間与えられる。

##### 【選考について】

- ・決勝ラウンドへの進出の際、予選ラウンドでのチーム内の上位3人の合計点をそのチームの得点とし、順位を決定する。
- ・予選ラウンドはランキングラウンドとし、この結果によってトーナメントに振り分けられる。
- ・予選ラウンドでの点数、10金数、X（インナー10）数がすべて同じ場合、クジ引きによって順位を決する。
- ・その他の点に関しては、全日本アーチェリー連盟競技規則に従って行う。

#### <団体トーナメント戦>

##### 【チームについて】

- ・1チームは3名または4名の選手で構成される。
- ・決勝ラウンドには予選ラウンドに出場した選手が出場する。
- ・決勝ラウンドはトーナメント形式で、男女各チームは、トーナメント表に従って振り分けられる。
- ・出場選手は各チーム3人とし、審判員にアピールすることでエントリーされた選手内での交代を認める。ただし、交代はエンド毎ではなく、各対戦間においてのみとする。

- ・行射しない4人目の選手の待機場所はコーチエリアのみとする。
- ・コーチ登録を行った者は、チームと同じユニフォームの着用を義務とする。
- ・コーチ登録を行った者は、コーチエリアにて選手に対して助言を行うことができるものとする。ただし選手に触れたり電子機器を使用しないこと。

### 【行 射について】

- ・すべての行射は、70mの射距離で122cmの標的を用いて行う。
- ・行射は、両チームの3人の競技者が1mラインの後方にいる状態で開始され、開始合図後に第1競技者が1mラインを超える事が出来る。
- ・決勝ラウンドでは、チーム毎に1名の競技者のみが、シューティングラインに立つ事ができる。他の競技者はシューティングライン後方1mの位置に設けられた1mラインよりも後ろで待機しなければならない。この時、行射を終了した競技者が1mラインを超えてからでなければ、次の競技者が1mラインの中に入ることは出来ない。
- ・決勝ラウンドにおいて、競技者はシューティングラインに立つまでクィーバーから矢を取り出す事はできない。
- ・行射中の競技者に対し同チームの競技者及び監督・コーチに限り助言する事ができる。監督及びコーチは行射中、手持ちの双眼鏡又は3脚付きスコープを使用することができる。
- ・同チーム3名の競技者のいずれかが、時間外発射をした場合は、そのチームの最高得点の矢の点数を削除する。

※団体戦のセットポイント制のルールについては別途配付

### 【対戦形式について】

- ・すべてのマッチにおいて1チームにつき1的を使用して行う。
- ・1回戦は男女別に全対戦を同時射ちで行う。
- ・準決勝戦は男女ともに2対戦（4チーム）を同時射ちで行う。
- ・1回戦～準決勝戦においては選手全員が矢取りを行う。
- ・3位決定戦・決勝戦は男女別に1対戦ずつ行い交互射ちとする。
- ・3位決定戦、決勝戦で、各チームはエージェント（代理人／競技者に代わって得点を確認する人）を指名しなければならない。ランナー（矢取り員／競技者に矢を渡しに行く人）は大会役員が行なう。
- ・決勝ラウンドでは競技者の弓具破損による延長時間は与えられない。
- ・その他に関しては全日本アーチェリー連盟競技規則に従って行う。

### <罰則規定>「主な違反」

- ・ 1 mライン以内に同時に2名以上の競技者が進入した場合。
- ・ 行射開始の合図の前に第1競技者が1 mラインを越えた場合。
- ・ シューティングラインに立つ前に矢をクィーバーから取り出した場合。

これらのように、違反に該当する行為があった場合、審判がイエローカードを挙げ、選手、監督、コーチに注意を与える。注意を与えられた選手は、1 mライン後方に戻り、もう1回やりなおさなくてはならない。審判が注意を与えてもそれを無視し、行射をした場合、審判がレッドカードを挙げその選手のチームの最高点は削除される。

### 注意事項

1. 選手は会員証を持って選手チェックを受けること。
2. 選手は競技時にはユニフォームを着用すること。
3. 試合進行を速やかに行うため、矢取りは駆け足で行うこと。
4. 選手は大会終了後、スコアシートを必ず本部に提出すること。また、本部より出される最終結果は必ず承認時間内に確認すること。
5. 試合運営を迅速に行うため、ロスト矢については競技中には探さず、矢取り時に審判に報告し、大会終了後に探すこと。

## 選手名簿

金沢大学		北陸大学		敬和学園大学		信州大学			
<男子>		<男子>		<男子>		<男子>			
4年	内山 佳祐 藤丸 和也	2年	石田 朋 松原 周平	4年	小林 大智 小柳 貴広	3年	青木 崇晃 石間 貴大		
3年	伊藤 雅大 上田 拓実 小池 拓矢 白井 宏典 田川 佳樹 仲山 悠也 藤田 和真 見波 将 盛合 孝司 八杉 崇史	<女子>	3年	竹中 麻子 村上 つかさ 村瀬 莉苺	3年	小栗 慎 山口 創	植谷 健介 川口 豪		
2年	大塚 研人 酒井 健士郎 澤越 祥陽 中山 響介 西川 智生 西田 椋亮 橋本 幸樹 松平 湧也 松本 圭太 目澤 友宏 山崎 友輔 米澤 光晴	2年	佐藤 あすか	<女子>	2年	白塚 哲也	2年	飯森 真爾 江村 捷平 桑田 康平 佐藤 由希	
	<役員>	<役員>	3年	村瀬 莉苺 ※	<役員>	4年	渡邊 真実 小林 舞	2年	飯森 真爾 江村 捷平 桑田 康平 佐藤 由希
	<女子>	新潟大学			<役員>	4年	渡邊 真実 小林 舞	<女子>	
	3年	<男子>			4年	小柳 貴広 ※	3年	富井 紗奈	
	井上 亜由美 渡部 菜緒	3年	石川 稜二 大貫 浩平 梁瀬 拓雄	富山大学			2年	大戸 萌寧 後藤 麗 森 麻衣子	
2年	林 真帆子 福田 裕美 三浦 夏海 山口 えりか	2年	今井 悠貴 神田 彰也 小林 哲也 竹橋 健太郎 仁平 龍太 橋本 英哲 藤本 健太郎 吉田 聖悟 吉見 尚希 渡辺 文智	<男子>	3年	落合 大剛 山本 健介	<役員>	4年	熊崎 愛作 杉浦 帆高
<役員>				2年	駒田 翔 篠原 孝彰 中村 信仁				
4年	堀田 侑希 向出 俊央	4年	森清 友亮	<女子>	4年	永田 咲 中盛 恵 玉木 芳英美			
		3年	小柳 くるみ ※	3年	角屋 真澄 大沼 瑛未				
		<女子>		<役員>					
		3年	落合 あづさ 小柳 くるみ	4年	永田 咲 中盛 恵 玉木 芳英美				
		2年	近藤 愛夏						
		<役員>							

※は選手兼任の役員

<第35回北信越学生アーチェリー対抗戦結果>

男子			
第1位	阿部一真	敬和学園大学	557点
第2位	大貫浩平	新潟大学	515点
第3位	小池拓矢	金沢大学	507点
第4位	新谷亮太	信州大学	506点
第5位	若松宏幸	北陸大学	503点
第6位	石間貴大	信州大学	501点
女子			
第1位	星亜沙美	敬和学園大学	575点
第2位	小林舞	敬和学園大学	460点
第3位	落合あづさ	新潟大学	454点



# 大会記録

## 対抗戦

ハーフ (98年まで)

男子	新潟大学	4750点	85年
女子	富山大学	2804点	95年

シングル(99年から)

男子	金沢大学	6299点	04年
女子	信州大学	4081点	02年

## 個人選手権

男子	金沢大学	大和 裕也	1249点	09年
女子	敬和学園大学	小林 舞	1276点	13年

## フィールド

男子	金沢大学	大和 裕也	307点	09年
	長野大学	朝倉 美希	307点	12年
女子	敬和学園大学	星 亜沙美	305点	13年

## 選抜戦

シングル (92年まで)

男子	富山大学	棚橋 徳彦	1183点	90年
女子	新潟大学	丸田 薫	1114点	88年

ハーフ (93年から)

男子	敬和学園大学	阿部 一真	662点	11年
女子	敬和学園大学	星 亜沙美	643点	12年

## 新人戦

ハーフ (09年まで、12年から)

男子	新潟大学	上平 章弘	652点	02年
女子	敬和学園大学	小林 舞	640点	12年

30mW (10年・11年)

男子	富山大学	橋本 時茂	583点	11年
女子	金沢大学	三宅 あかね	553点	10年

## インドア

### 30射 (99年まで)

男子	富山大学	南塚 了	272点	98年
女子	新潟大学	下村 真弓	265点	97年

### 60射 (00年から)

男子	長野大学	朝倉 美希	567点	10年
女子	敬和学園大学	星 亜沙美	569点	10年

2013年12月1日現在

## 連盟記録

### 男子

シングル	棚橋 徳彦	富山大学	1261点	90年インカレ
ハーフ	阿部 一真	敬和学園大学	662点	11年選抜戦
90m	梨本 晃太	敬和学園大学	294点	11年西日本
70m	梨本 晃太	敬和学園大学	324点	11年個選
50m	棚橋 徳彦	富山大学	321点	90年インカレ
30m	棚橋 徳彦	富山大学	345点	90年インカレ

### オリンピックラウンド (18射)

内山 剛志 新潟大学 154点 97年個選

### オリンピックラウンド (12射)

發地 克哉 新潟経営大学 111点 09年個選

### オリンピックラウンド (72射)

松井 淑孝 信州大学 605点 01年a-cup

## インドア

18m30射 朝倉 美希 長野大学 287点 11年インカレ

18m60射 朝倉 美希 長野大学 572点 11年インカレ

### オリンピックラウンド (12射)

新井 直之 北陸大学 116点 02年インカレ

## 女子

シングル	星 亜沙美	敬和学園大学	1 2 8 9 点	1 3 年インカレ
ハーフ	星 亜沙美	敬和学園大学	6 4 3 点	1 2 年選抜戦
7 0 m	星 亜沙美	敬和学園大学	3 1 5 点	1 2 年対抗戦
6 0 m	星 亜沙美	敬和学園大学	3 3 1 点	1 1 年個選
5 0 m	小林 舞	敬和学園大学	3 1 9 点	1 3 年インカレ
3 0 m	小林 舞	敬和学園大学	3 4 2 点	1 3 年インカレ

### オリンピックラウンド (1 8 射)

下村 真弓 新潟大学 1 5 4 点 9 6 年インカレ

### オリンピックラウンド (1 2 射)

桶谷 和代 新潟大学 1 0 5 点 9 4 年インカレ

下村 真弓 新潟大学 1 0 5 点 9 6 年インカレ

### オリンピックラウンド (7 2 射)

下村 真弓 新潟大学 5 9 0 点 9 6 年インカレ

### インドア

1 8 m 3 0 射 星 亜沙美 敬和学園大学 2 8 7 点 1 0 年インドア

1 8 m 6 0 射 星 亜沙美 敬和学園大学 5 6 9 点 1 0 年インドア

### オリンピックラウンド (1 2 射)

西谷 知美 富山大学 1 0 5 点 9 7 年インドア

2 0 1 4 年 2 月 1 5 日 現 在

#### 諸注意

1. 本大会は（社）全日本アーチェリー連盟競技規則に準じて開催されます。
2. 競技中の負傷は各選手の責任において病院等で適切な処置を受けてください。なお主催者側では応急処置のみをします。
3. 競技場内にはゴミを散らかさず必ず持ち帰って下さい。
4. 競技場内ではお互いマナー良く競技して下さい。